や　やさしく思いやりのある子ども
ち　ちがいをみとめあい、進んで学ぶ子ども
ご　ゴールめざして、たくましく　がんばりぬく子ども

八児小だより

北九州市立八児小学校
令和3年度　学校通信
＜12月臨時号＞
令和3年12月16日
文責　校長　成住きよみ

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和３年５月２７日（木）に、６年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

⑴　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策　　の成果と課題を検証し、その改善を図る。
⑵　学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
⑶　そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

⑴　教科に関する調査（国語，算数）

教科に関する調査（国語，算数）
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

⑵　児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

⑴　全国･本市の学力調査（国語，算数）の結果

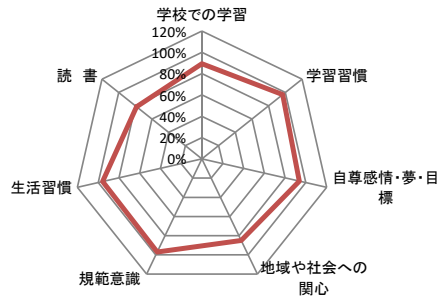
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

⑵ 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な 傾向や特徴など	選択式の問題は、全国平均と同程度にできている。記述式の問題は、全国平均と比べてよく正答している。とくに文を読み取り要約する問いや詳しく書き直す問いについてよくできている。漢字の書き取りに課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題	
	努力が必要な問題	漢字を文の中で正しく使う問題	

算数	全体的な 傾向や特徴など	計算問題や文章問題、グラフを読み取る問題などについては、全国平均と同程度にできている。 速さや時間の計算、複数の図形を組み合わせたときの求積方法についての問題に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	直角三角形の面積を求める式と答えを書く問題	
	努力が必要な問題	速さや時間の計算、複数の図形を組み合わせたときの求積方法についての問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



【全国平均を100%として比較】

質問紙調査の結果分析
・生活習慣や規範意識が身についている児童や自尊感情の高い児童の割合は、全国平均とほぼ同じである。 ・携帯電話やスマートフォン・コンピュータの使い方について家の人との約束を守っている児童の割合が、全国平均より２割ほど低い。携帯電話やスマートフォン等の使い方について啓発していく。 ・地域や社会への関心が全国平均より１割程度下回っている。感染状況に留意して学校行事や各教科・総合的な学習の時間に地域との交流等を計画的に設定していく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・多層指導モデルＭＩＭやコグトレを活用し、学力の基盤づくりを行う。
・週に２回の補充学習を通して漢字や計算等の基礎学力の定着を図る。
・全ての児童にとってわかりやすいユニバーサルデザインの授業づくりに全職員で取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭と学校が連携・協力するために学校・学年・学級だよりやホームページを通して児童の学習や生活の様子について発信する。さらに学校の方針や取り組みを伝達していくことで、学校と家庭が同じ方向を向いて、ともに子どもを見守り、育てていけるようにする。
・コミュニケーション能力を高める指導を行い、良好な友人関係を築くようにする。
・朝自習の読書タイム、読み聞かせを中心にすきまの時間なども使い、本に触れる機会を増やし、読書の楽しさやよさを伝え読書習慣を育成する。

今後、本調査の結果を参考にしながら、本校児童の学力向上に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。
これからもご支援・ご協力をお願いいたします。